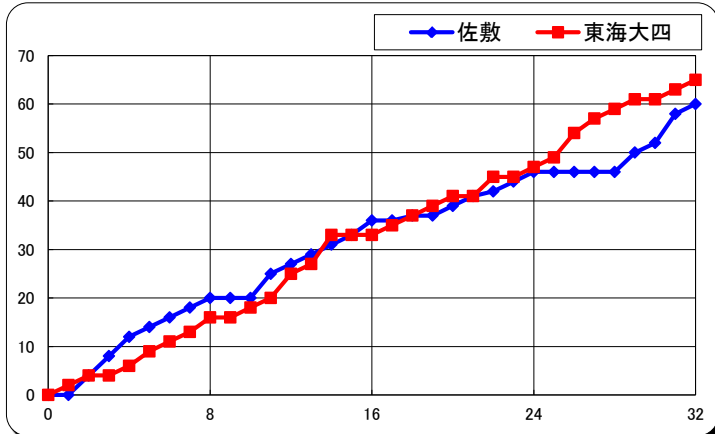




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

【得点経過】



【BOXスコア】

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 13:00																
コート	TBコート 第4試合																
カテゴリー	男 男子決勝トーナメント1回戦																
主審	中村 浩仁 (青森)																
副審	高嶋 憲彰 (鳥取)																
Team A	佐敷	Team B 東海大四															
	60	65															
	●	○															
	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>10</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	20	1st	16	16	2nd	17	10	3rd	14	14	4th	18	OT			
20	1st	16															
16	2nd	17															
10	3rd	14															
14	4th	18															
OT																	

Team A		佐敷					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	平良 海斗	×	4	0	2	0	1
5	屋比久 空	DNP	0	0	0	0	0
6	宮城樹稀弥	/	0	0	0	0	1
7	仲里 公希	DNP	0	0	0	0	0
8	金城 大樹	DNP	0	0	0	0	0
9	與那嶺佑樹	DNP	0	0	0	0	0
10	我如古幸永	DNP	0	0	0	0	0
11	照喜名喜一郎	DNP	0	0	0	0	0
12	知念 大成	DNP	0	0	0	0	0
13	宮城 拓三	DNP	0	0	0	0	0
14	親川 玄	×	13	0	3	7	0
15	高橋 英寿	DNP	0	0	0	0	0
16	宮城 洋希	×	19	0	9	1	1
17	吉田龍太郎	×	13	0	6	1	1
18	與那嶺幹也	×	11	1	4	0	3
監督	前花 和秀						0
コーチ	仲里 純一						0
合計			60	1	24	9	7

Team B		東海大四					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	長尾 光輝	×	10	0	4	2	3
5	苫 希生	/	7	1	2	0	1
6	柴田 京哉	×	15	1	5	2	0
7	山本 鳴海	×	20	0	10	0	4
8	沢井 嘉恭	/	0	0	0	0	2
9	坂本 麗光	DNP	0	0	0	0	0
10	因幡 俊平	DNP	0	0	0	0	0
11	干場 奨太	DNP	0	0	0	0	0
12	須藤 雄太	DNP	0	0	0	0	0
13	島谷 怜	×	11	3	1	0	2
14	古田翔太郎	DNP	0	0	0	0	0
15	篠澤 祐麻	×	2	0	1	0	3
16	矢本 泰稀	DNP	0	0	0	0	0
17	松原 光輝	DNP	0	0	0	0	0
18							
監督	嶋村 圭太						0
コーチ	政氏 拓留						0
合計			65	5	23	4	15

【戦評】

決勝トーナメント1回戦、九州ブロック代表佐敷と北海道ブロック代表東海大第四の一戦。両チームマンツーマンDefでスタート。東海大第四は#7のポストプレーで先制。対する佐敷は開始直後、#16の連続得点や#14、#18の果敢な1対1で得点を重ねる。東海大第四も#4、#6の1対1、#13の3Pで応戦し、1Q佐敷20-16東海大第四で終了。2Qに入り、一進一退の攻防が続く。東海大第四は#4、#6の1対1、#7のミドルシュートなどで残り2分20秒で逆転する。しかし、佐敷も一歩も引かず、#14、#16、#18の1対1で応戦し、佐敷36-33東海大第四で前半終了。

3Q、東海大第四は#7のポストプレー、#6の1対1でOffを組み立てる。対する佐敷はDefから速い展開で#14、#16の1対1や#17の力強いリバウンドで応戦する。3Qはどちらも引かず東海大第四47-46佐敷で終了。4Qに入り、東海大第四は#7の1対1、#6の3Pにより、開始1分33秒で6点リードする。佐敷はタイムアウトをとり、その後、佐敷の#17、#18が果敢にリングをねらうが、東海大第四の勢いは止まらず、#13が3Pを決め、じわじわ点差を広げていく。再び佐敷はタイムアウトをとり、#14がリバウンドシュート、#4、#16の1対1で追撃し、3点差まで詰めたところで東海大第四がタイムアウト。その後東海大第四は、#7がポストプレーで得点し、東海大第四65-60佐敷で逃げ切り、東海大第四が決勝トーナメント2回戦へと駒を進めた。

【戦評記入者】

谷口 真由